

「三国地区 認知症高齢者見守り声掛け模擬訓練」参加

10/22（日）に坂井市高齢福祉課主催の『三国地区 認知症高齢者見守り声掛け模擬訓練』があり、包括職員も2名参加しました。

参加者33名で、とてもたくさんの方々が参加してくれました。

まず、講師の方から認知症の基礎知識、認知症の方と接するときの心構えについて講義をしてもらい、次に市の職員が悪い声かけ例を実践しました。悪い声かけ例を見た後、どのような声掛けをするとよかったのか、講義中のヒントを基にグループワークをしました。グループワークでは、まず基本の対応について、次に徘徊者が見知らぬ人だった場合やケガをしている場合にはどのように対応するか話し合いました。

参加者からは、「実際このような場面に出くわしてもできるかな」などたくさん意見が出ていました。

今回参加してみて、とても良い取り組みだと思いました。参加者がとても多く、認知症は関心が高いことだとわかりました。

今後も、あらゆる世代の人がどこの地区に住んでいても安心して暮らせるよう、地域性に合わせた支援を、坂井市高齢福祉課と共に取り組んでいきたいと思っています。

